

第2回郡山市上下水道事業経営審議会 議事内容

日 時	令和2年7月10日（金） 午後1時30分～午後3時45分
場 所	郡山市役所西庁舎5階 5-1-2会議室
出席者	<p>【委員：11名】 中野和典会長、小林裕子副会長、安部洋子委員、伊藤江梨委員、伊藤清正委員、太田善雄委員、大波久夫委員、竹谷金浩委員、平川真理子委員、満田仁一委員、渡辺亨委員（ウェブ会議） ※欠席者：川面顕彦委員、玉野井晃委員</p> <p>【事務局：17名】 村上上下水道事業管理者 外</p>

1 開会	
事務局	第2回郡山市上下水道事業経営審議会を開会する。
2 会長あいさつ	
会 長	会長に選任いただきました中野です。諮問はウェブ会議、第1回は書面会議で、本日が初めての対面形式の会議となる。任期2年の中で、諮問に対して実効性のある答申を作っていけるよう委員皆様のご協力をお願いしたい。
3 審議	
事務局	欠席した委員は2名。郡山市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項により、出席者は過半数を超えているため、本日の会議は成立していることを報告する。議事は会長が議長となり進めていただく。
議 長	本日の傍聴希望者はいるか。
事務局	本日の傍聴希望者はいない。
① 水道料金・下水道使用料及び受益者負担金について	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料1、参考資料1】水道料金・下水道使用料及び受益者負担金について説明】
議 長	委員から質問等あればお願いしたい。
委 員	郡山市における水道の資産維持費を0.61%にしている根拠と、下水道も資産維持費を位置付けるのか知りたい。また、基準外繰入金をどういう形で減らすのかも知りたい。
事務局	水道の資産維持費は平成29年改定の中で、自己資本構成比率78.88%×政府債利率繰入率0.8%＝資産維持率0.61%で算出している。 下水道の資産維持費の算出と基準外繰入金の減少は、分流式下水道等に要する経費の動向による。
委 員	料金体系が水道は7段階、下水道は2段階となっているが、段階を共通化するなど分かりやすい料金設定にする案も検討して欲しい。
② 下水道事業経営戦略の改訂について	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料2】下水道事業経営戦略の改訂について説明】

委員	下水道事業経営戦略は、人口予測がベースとなっているが、新型コロナウイルスの影響で人口予測と実績が乖離する可能性がある。乖離を少なくするアイデアはないか。
事務局	下水道事業経営戦略改訂は、郡山市人口ビジョン等を参考に進めていきたい。新型コロナウイルスの影響も含め、実情に合った形で柔軟に対応していきたい。
委員	実績値で既に平成30年度から乖離がある。現実味のある計画を作成願いたい。
③ その他について	
議長	審議事項3番目、その他をお願いしたい。
事務局	<p>その他は5件ある。</p> <p>1件目として、参考資料2経営比較分析表（4事業）を配布した。総務省で経営戦略の策定状況の「見える化」を推進するため、毎年個別団体ごとに調査し、結果を公表しているもので、本市の上下水道事業の経営状況等の一端がわかる。</p> <p>2件目として、資料4新型コロナウイルス対策としての上下水道料金等減免について説明する。現在「徴収猶予」と「ホテル・旅館に対する減免」を行っている。例として、全世帯の上下水道基本料金を2ヶ月減免した場合は約7億円の減少が見込まれる。将来の施設更新計画、上下水道料金に影響を及ぼす可能性があることから慎重に検討する。</p> <p>3件目として、資料3上下水道局資産の活用についてということで、豊田浄水場跡地の余剰スペースを需要調査中である。また、防災危機管理課と連携し、災害時の避難者駐車スペースとして開放する予定である。下水道管理センター跡地は、施設の一部を令和2年度も解体撤去中である。</p> <p>4件目として、阿久津地区農業集落排水施設からの下水処理水流出報告ということで、令和2年6月29日に下水処理水が流出する事案があった。阿久津地区農業集落排水施設は、令和元年東日本台風で被災し、災害復旧中であった。周辺への環境影響は現時点で出ていない。今後管理体制に注意する。</p> <p>5件目として、令和元年東日本台風により、阿武隈川でバックウォーター現象が発生し、水害が起きた。河川については、河川管理者が対策を行う。ゲリラ豪雨による内水は、下水道で対策を行う。現在ゲリラ豪雨対策9年プランにより、令和4年を完成目標に整備を進めている。</p>
委員	本日の審議事項を自身の所属団体で報告してよいか。
事務局	本日の審議会は公開としており、問題ない。
委員	新型コロナウイルスの減免について、ホテル・旅館の減免は申請して初めて減免となるのか。
事務局	減免申請は不要であり、既に実施している。
委員	上下水道事業料金のクレジットカード払いは開始しているのか。
事務局	令和2年1月からクレジットカード払い及びPayBの支払いを既に実施している。
委員	クレジットカード払いは、郡山市上下水道局としてどのように推進するのか。
事務局	キャッシュレス及びカウンターレスを目指し、積極的に電子決済を進めていきたい。
委員	<p>コロナによる減免は、全世帯だと経営的な影響も大きく、減免を行う場合は例えば市民税非課税世帯なりの制限を設けたほうが、経営のバランスが取れると思う。</p> <p>また、上下水道料金の段階性について、大口利用者と中間利用者のバランスを取る考え方が望ましい。</p> <p>質問として、豊田貯水池の跡地を駐車場として利用するのは一時的なのか。</p>
事務局	上下水道局としては、豊田貯水池の跡地利用の検討の際に、災害用駐車場の他にも営業外収入を得られるような有効活用を進めたい。

委員	以前水道審議会委員をしていたとき、豊田貯水池の跡地利用で、子ども達に水の大切さを分かって貰える歴史資料館を作って欲しいと発言したが、検討はしていないのか。
事務局	豊田貯水池の跡地については、市で検討委員会を設けており、その中で歴史的な部分も市民の皆様へ後世に伝えていくかということ、十分踏まえながら検討しているところである。
委員	減免の料金の補填はどうするのか。臨時交付金の活用はあるのか。
事務局	減免の補填に臨時交付金は使用していない。令和2年度予算の範囲で行っている。
委員	<p>下水道経営戦略について、国交省の経営戦略策定ガイドラインで毎年度進捗管理を行い、3～5年ごとに改訂を行う必要があると示されている。郡山市はガイドライン通りで素晴らしい。</p> <p>また、経営戦略の改訂と使用料の見直しを同時に検討することも望ましいことである。次回以降の審議会での資料を期待する。</p> <p>さらに、下水道使用料について、将来の有収水量減少に備え、市民にどう負担を求めるのか、郡山市の実態を踏まえての設定が必要である。次回以降議論したい。</p>
4 閉会	
事務局	以上をもって、第2回郡山市上下水道事業経営審議会を閉会する。